

明日から21

小川(修) : 午前からの outline はおわかりにない。今日と夜と結論をきく。このF、  
野上との比 中口の科学と科学者 — 中口の問題はハグの他人にかうす  
けえの他人にあり。中口の比重が大きくなる。中口の科学の水準を124年  
の計算について、<sup>PR</sup>科学についての考え方の background  
安野さん — 中口の基本的理念 — 中口の政治的リネンとして現在  
どう考えているかを述べた。田中先生の指すところの科学の考えと一致している  
貝塚 中口の考え方が西歐人にわかりにくく点あり。中口と日本との関係  
中口の歴史 二つの中口を一つにする考え方  
上原 : 民族主義的個人について考へ方 アジアの「国」の故  
をいふこと。

今度の会がハグの会議の勉強会であるので

- 1) 中口の科学者の考へ方、あり方、役割にかんかんし、吾々がどういう役割  
を考へているか
- 2) <sup>PR</sup>社会主義の路線についての考へ方が生じているが、ハグの会議の立場から  
どう対応はするか。中口の核武装をどう考へて行けばよいか
- 3) 二つの中口をどうしよよいか
- 4) 現在の日本人としての考へ方 (民族意識?)

小川 : 野上さんの話と他人かんし 中口科学者のハグの会議にどう考へ方  
ハグは57年頃のこと、これを支持するべき運動があったのかどうか。  
一、二度はうらば源氏。 又曰、うらば源氏が出席  
実際中口はいつの方ほどか

野上 : 中口の中でハグはどのくらいか。式にどうにかしているか、すべての平和  
うくどうを支持する。一昨年、小川氏が行ったとき、日本科学者協会から  
昨年同様の源氏 平和運動は支持するが、原水禁の会と比喩するとハグ  
より原水禁大会の方が上。ハグの方はアジア、アフリカ等が入っている  
こと、原水禁大会ではこれらの代表も入っている。  
日本と西欧の比較

坂田 : ハグそのもの話だが、かくついでに日本の来るときに、基研で二人で  
人びとに話をし、ラッセル・アインシュタインの明をどう考へるかに対し、この  
月をより勉強しているとのことである。



フクシマ:

その点 おどかしな事ごとく申すに似て居る

小川: 米ソは同じ考え方に立っているが、それをあとしとつてはる時生ずる。

朝水: ラッセル、アインシュタインをどう考えているの。教育的に考えているの

豊田: ~~先程の~~私のことばと人民日報とでは違う

福島: 本当に申すに人民日報のよう考えているの。核兵器生産を「おどかし」の  
はるか

山田: ハグ以前 57年 かくついでに氏にfall outのことを書いたが、  
6億5千万 4億5千万 2億5千万のころとつて居る

小沼: アメリカの電子計器数にすると、ソビエトはどうしても核兵器といふ

谷川: Teller はアメリカは合減しといっている

朝水: 申すの考えはともつとあるところから、米ソが同盟したとき、こういふ

田中: のころといつたとき、ほうふく力かのころかといふ考え

朝水: よく止といふ考えのもしやんをついて居る。核兵器をつくる知識はいつて居る  
から、それが戦争をよそ止しているのは事実かどうか

田中: 社会主義いふことが文法してきてるので平和のきうんかうまわるといふ考えて居る

大抵: 中ソとソ聯の差は、せんどうの回復は可能とちういふ点はどこらも同じ  
で、いかにして回復するかはちがう (ヒューマン)

人数が全めつするといふ言葉は 8/100 では使っている。核兵器  
戦争をよそ止するか第一義的かといふのは一致している。

田中: 安野さんの話として 1) 社会主義のせいせいのなかり 2) しくみん地 <sup>争う</sup> ~~争う~~  
新時代の持長は

アメリカも社会主義圏の大きくなつて居ることも認められている。科学技術の発展も  
事実である。そのなかで、全般的な情状のなかで、軍事情況をどう考えるか。  
核兵器を無くするのでも目的のちがうといふと生ずる。

小川(修): フドローは 8/100 とハグをむすびつけて居る。

坂田: ハグでは社会科学的存在 ~~の~~ べんといふ。

豊田: それで現象の問題はちがうではなか。

坂田: 社会科学的存在といふのがハグだと考えているのではなか。

朝水: 伊豆和郎一人争に居るのをあはれしている。

田中: ハグで帝制主義などとうろくして居るしちがう。

全軍軍縮は米ソ一致しているの、エンゲリングの114人の交換はや  
くらむのちがう No. 6, 1961, 11, 30,000

坂田: 150ぎのまのまに考えていてはこまる。

朝永: 米川が、それをいしにいかば、二大口の力が大きいことはいふ。

谷川: 10年ほど前から4へいけ小口の発言はましている

瑞川: 中口を考えることか。

田中: 口際の人めりで米口が参考になる例もあるから、中口をいふへいけこと  
は出来る。

貝塚: ラオス会議に中口は生きているか、米口はみかしていい。

朝永: 中口にとっては influence を与える場がない。どうすると influence with  
- out power が出来るか。朝

田中: 朝鮮戦争では中口をいふ。

大槻: ちくまはアメリカが台湾を control している間は戦争が起らぬといふことか  
いうか。

谷川: 蒋介石のいるのをいふからか。

貝塚: 実際に中口を control しているのはソ聯である。  
航空機用グリッドをいふからか。

奥田: 科学者のやぐわりで Bethe が、二三日前の American character といふ  
いふことか。科学者はあつた立場にある。原子爆弾を作つて以来  
パブリックの圧力で、科学者は何でも出来ると思はれて、無理に金を  
らけられている。フジテンは居るレベルに於て、根本的にアメリカの教育を  
あつたか。トップレベルはあつたか、あつたか。

田中: 一昨日の英文をみうりにアインシュタインに人はいふのはきつかにいふ努力がある、政府の  
おどしときつかにいふにはどうやう行くのか。

谷川: 科学者は何でも出来るといふのはソ連をやつたといふ右翼の圧力がある。

田中: ケネディのドミニカン 右翼をきかぬとき、政府が良くなることか。  
右翼が出来る。しかしそれはケネディが良くなることか。

貝塚: 最近の核実験はソ連ではデモンストレーション兵器といふ  
ことか。アメリカは実用を考えている。

小沼: 口連の使用禁止に対してアメリカは反対している。

田中: ケネディ group が中口を前向きに考えているか、共和黨に於てはアメリカ  
が悪くなることか。ケネディの良くなることは伸ばして行くか。

朝永: アメリカの右翼に対し、アメリカの特殊性をいふことか。この言葉  
はあつた。

フルシチョフは中口をどう考えているようにも  
おもしろい。これは多少のきけんもあるのではなか

貝塚: 米ソはトップは戦争を後に居るが、中口のトップがどう  
考えているのか。

田中: フルシチョフの線はスウィーグは良いと云っている。

坂田: 中口はきけんをなくして原則を押し出しているのではなか

小沼: フルシチョフ

貝塚: この間の中口の代表者会議に ~~哲学者~~ 理系の人ばかりだ。中口  
派である。戦術的後退のように見える。トップレベルはみけん派  
である。

赤島: 中口が全面戦争を起す可能性は低いということも宿願せねばならぬ。

田中: 中・印口境問題は印度の方にある。

小川: ちんきの核武装の話はどう考えているか。

赤島: 日本の核武装とかんけんを考えている。

貝塚: 中口がもつから日本が持つという考えがある。

山田: 中口は無責任な行動をとるという几に西欧は云っている。中口は実は  
consistentな人どう云っている。

豊田: ハクグは全面完全軍縮の為に <sup>科学に於ける</sup> 国際協力が生じているか、中口  
はどう考えているか。本当の国際協力とは何か。これを討論のど  
に入れておきたい。

小川: (まゆみ) ハクグの中核の中核のやくめ、のりくんのなかで、ハクグの文  
字の中口の考え方のべらねえ。そのなかで科学者個々の考え方は  
おもしろい。

核兵器に対する考はハクグと違っている。  
中口関係し、中口の科学者の考え方を中核の中核のとりいれをきく  
大口(米ソ)をどう考えるか、それ以外の口の評價、日本もハクグ運動の  
なかでどう考えているか。

戦争をせくという考え方については社会主義口では一致している。

influence without power とも云う。

中口の口連加め。

口境とかんけんし、中口の核武装は日本の問題と云うべきである。

~~アメリカの問題~~

豊田: ラッセル・アインズワイン 聲明の再かく認<sup>ん</sup>という点  
— 五合体制 —

小川(修) アメリカの極東政策についての貝塚先生の講演を  
貝塚: 蒋介石がどういふ人にならうか。今の口筋(こうしん)は蒋介石支持の  
居<sup>る</sup>から不安がある。中蘇と蒋介石とは連絡がある。日本と中口とはもう少し交渉  
の道を探らなくてはならない。

福島: アメリカとの問題が大きいのは何故か。

山田: アメリカが台湾から引きあげてもよいと考えるかどうか。

福島: 本気になつてやうな態度が出てくればよい。

貝塚: 広義の意味のストラテジーが中心である。

小沼: 軍用ベースをさへ行くのか基地のすみぢきの問題か。

小川: 台湾のなかの動きがなれば難かしいのではないか。

貝塚: 日本に東にいる台湾人の独立をどう<sup>か</sup>は台湾民衆の受けとみではない。  
台湾人は反共的である。外人の支配をきりやうとすることである。

田中: 自治もよい。<sup>(と云われている)</sup>

坂田: アメリカに対する感じはどうか。

貝塚: アメリカに対する感じはよいというわけではない。

小川: 台中人に対する話題が討論された。明日の問題

① 中口の存在が明らかになる。中口の基本はせんが全面戦争と  
きかへり事はない。② パウチで、米・ソ以外の contribution が  
ある。

③ 實際の協力の中心。中口と日本の科学者の国際協力。  
民族意識の中心。④ 核武装の中心。現実の中心に  
なるとき どうなるか。